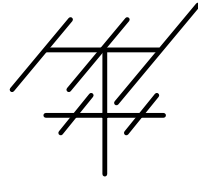


# 子育てチャンネル



## 「子育てについて思うこと」

東川小学校PTA副会長  
菅野 昌美  
MASAMI KANNO

私は、双子の娘たち（10歳）の子育て真っ最中です。

子育ての時々で思うことがあります。「子ども」って、自分の作品で、「子育て」って、その作品を作るんじゃないのかと。

二卵性の双子なのですが、同じように育ててきたのにあらゆる面で違っています。遺伝子と、私達親の育て方で、子どもは色々出来あがっていくと思うのです。

作品といつても、見事な作品というわけではなく、「生まれてきて良かった」、「幸せ」と沢山感じてくれる二人を育てたいのです。

娘の友達同士での手紙のやりとりで、生まれてきて良かったかの問いに、二人とも「はい」と書いてあったのをこっそり見て、嬉しかったです。しめしめ。

私の子育てのこだわり一、食べ物で粗末にする人になって欲しくなかったし、よその家のご飯をおいしくいただけなかったら困るので、子どもの好きなものばかりは作りませんでした。魚の目玉など時々食べるので面白いです。

こだわり二、私がつらい時でも、元気なところを見せてきたつもりです。幸い私自身もあまり体調を崩すことなくきましたし、「平気だよ、楽しいよ」という態度を見せたかったです。

ただ、「お母さんは完璧じゃない。いっぱい間違っし、失敗もする。人は皆そうだよ。」と言って

います。私は違うという方、ごめんなさい。「だから失敗しても間違ってもいいよ。何度も同じことを繰り返すのは良くないけれど。時には、人に迷惑かけたり、人の手を借りることも絶対あるよ。その代わり、その逆になった時は、許してあげたり、手を貸してあげてね。」とも言います。それが、最近耳にする共生社会ではないでしょうか。

こだわり三、手のかからない子が将来的に良い子とは思いませんが、悪いとわかっていて意地悪するのは、絶対許せません。我が家の子ども達がそんな事したら、どうぞ叱ってください。私も、いけないことをする子どもを見かけたら注意します。悪く思わないでください。

こだわり四、本好きな子になってほしかったから、フリーマーケットや、古本屋で本を買いまくって読んでやりました。

こだわり五、小さい頃、公共の場で騒いでほしくなかったので小さい声で、「ここは静かにするところ。」と囁きました。効果あり。以上五つが、私の譲れないこだわりです。

最近我が家で、柴犬の双子（正確には四つ子）のメスを飼い始めました。双子の子育てを思い出しました。やきもちをやくし、同じものを欲しがり、私のひざの取り合いをします。ひざの取り合いは可愛いです。毎日大変な日々で

す。  
双子育ての体験をした方は犬を二匹飼ってみては。  
最後に、私が最近読んだ子育ての本の中で、印象に残った事。

・子ども達は、何よりも自分を認めて欲しい。親との関係で安心感が欲しい。批判するのではなく、最後まで子どもの話を聞いてあげて。（耳が痛い私です）

・子どもはこの世のなかで、たったひとりの「自分」になるために生まれてきました。「自分は自分でいいんだ」と思えたとき、自分の中で眠っていた本来の力が目覚

めるのです。

私自身は、なかなか自信が持てず自己嫌悪に陥ることがよくあります。自分は自分でいいんだと子ども時代に思えていたら、違った人生になっていたでしょう。成人式まであと10年。ダメ親、ダメ人間ですが、さあ、コッソリと作品作りです。

生まれてきて良かった、人生って素晴らしい、と思える大人に成長してくれることを、母は心から楽しみにしています。

